

「学習とは何か」を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

先日、ノーベル賞の受賞者の発表がありました。今回は、日本から3人の方が受賞なさり、素晴らしいことだと思います。その中の一人の方は、青色ダイオードの開発において世界的な貢献をなさったということで、日本の科学者は本当に素晴らしいなと思います。

2. さて、この「開倫塾の時間」は学習の仕方を考える番組です。そこで今日は、「学習とは何か」について少し考えてみたいと思います。学習とは、学び習うことです。例えば、論語の第一章の最初に「学びて時に之を習う、亦説ばしからずや(まなびてときにこれをならう、またよろこばしからずや)」という有名な言葉があるように、学習の「学」は学ぶで、これはものごとを究めることです。つまり、これは何かというものごとの本質を究めて、「ああ、これはこういうことなのか」と理解することが「学ぶ」であると考えます。「習う」とは、本質を一度理解したものごとについて、繰り返し繰り返し読む練習をしたり、書く練習をしたり、計算・問題練習をしたりすることによって、それを身に着けることであると思います。

3. このように、「学ぶ」は、ものごとの本質を究めること。「これはこんなことか」とよく理解することです。また、「習う」は、学んだこと・よくわかったことを身に着けることで、それには音読をして正確に読めるようにすること、書き取りをして正確に書けるようにすること、いろいろな計算や問題を練習して身に着けることが大切です。

4. では、学習したことはどのような条件の下で上手く身に着けることができるのかということですが、やはり時間と努力を必要とすると思います。中学校で学習する教科は英語・数学・理科・社会・国語・美術・音楽・保健体育・技術家庭ですが、高校の実業系ではこのほかに簿記・会計・コンピュータなども学習します。また、芸術系、商業系、介護や福祉の分野でも勉強することがいろいろあります。さらに、大学に行くともっともっと専門が深まり、領域が広がりますので、学習することがたくさんになります。

5. 総じて言えば、学習には1つ1つの分野がありますので、それらを1個1個学んで習って身に着けるためには時間と努力を必要とすると思います。複雑な知識の塊が上手く構築するというか、築き上げるわけですので、そこで学ぶ生徒たちにとっても、そこで教える先生たちにとっても長い期間のハードワークが必要になると思います。いろいろなことについて問題を解決しようというときには、得られた知識を使いますが、それには長い時間がかかりますし、人知れぬ努力が求められます。つまり、学習の成功に影響を与える最も大切なものは、長い時間をかけて勉強することと努力をすることだと思います。
6. ただ、もっと楽しい脳に適した内容でコンピュータに基づいた授業を行えばよいのではないか・人生の早い時期にいろいろな教育をすれば、多くの時間と努力を投入しなくてもすむのではないかという意見もあります。確かにそのようなこともあるかもしれませんが、普通はそんなに甘くありません。相当長い時間をかけて勉強し、精神を統一するなどの努力を重ねないといけないと思います。これはすべてに言えることではないかもしれませんが、とにかく長い時間をかけないことには、また、努力をしないことには学習は成り立ちません。
7. では、長い時間をかけること・努力を重ねることはどのようにして身に着けたらよいのかをお話します。1つは、学校の定期テストや模擬試験、入学試験などをよい機会にすることです。これらは長い時間をかけないと、また、努力を重ねないとよい点数が取れないからです。2つ目は、学習のおもしろさを知ることです。ものごとは学べば学ぶほどよくわかってきますので、それによって得られるおもしろさというものがあると思います。学習は辛いという人もいますが、学べば学ぶほど世の中のことがわかってきます。また、1つの教科の内容がよくわかり、その結果よい点数が取れると大きな励みになります。そのような意味でのおもしろさも感じていただければと思います。
8. 今日は少し難しい内容でしたが、学習には時間と努力が必要で、簡単には成し遂げることができないというお話をさせていただきました。学習は大人の方にとっても大切ですので、お子さんといっしょに「学習とは何か」についてお考えいただきたいと思います。